西大寺小学校 学校だより ＜平成２８年度１１号＞

# みんな大好き
# 西小っ子ひろば

平成２９年　３月１４日(火)

## 感謝と感動！
## ６年生を送る会

まさに「あこがれこそが伝統を創る」を実感したひとときでした。去年の送る会に劣らず，今年の送る会も，さらにグレードアップした感動の連続でした。「こんな６年生になりたい！」「６年生のようにこんなことをしてみたい！」「６年生，ありがとう！」そんな在校生の思いが，踊りに演奏に呼びかけに，いっぱい詰まった会でした。

きっとその思いは，「西大寺のお宝」として子どもたちの心にいつまでも残り，受け継がれていくことと信じています。

## 連載　ちょっと知っといて！
### 今号のテーマ　本年度を振り返り，どうする？新年度・・・

【今年１年を顧みて】

４月，新年度のスタートにあたり，今年１年，みんな「ＡＫＢ」になって頑張ろうと子どもたちに話しました。Ａは当たり前のことを，Ｋはきちんと，Ｂはブレずにやり抜く集団です。職員にも，「凡事徹底」を合言葉に「チーム西大寺」として一枚岩となり，粘り強く教育に立ち向かおうと話しました。

そして，いろいろある「当たり前のこと＝凡事」の中から，「あいさつ」「そうじ」「くつそろえ」の３つを，本年度の重点として取り組むことを約束しました。

結果，子どもたちも職員も，私との約束を，見事に果たしてくれました。一人一人の頑張りが学級，学年，さらには学校の力となって，安定感と安心感のある西大寺小学校を創り上げたということに対して，校長として感謝の言葉しかありません。

さらに忘れてはならないのは，地域やご家庭からの支えがあってこそのこの１年間であるということです。子どもたちや私たち職員に対するご理解とご協力，そして叱咤激励，本当にありがとうございました。

【来年度に寄せて】

武田信玄の名言に「風林火山」があります。「問題や要望への対応は，風のように早く」「日々の授業は，林のように落ち着いて静かなものに」「教育に対する情熱は，火のように熱く」を心がけながら，特に来年度は「これまで積み上げてきたことを崩さず，さらに継続，発展させるために，山のように動じない」学校づくりをしていきたいと考えています。変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

**「ちょっと考えて！」「ちょっと知っといて！」のご愛読，ありがとうございました！**

１３日（月），本年度最後の朝会で次のような話をしました。６年生にとって小学校生活最後の朝会ということもあって，高学年向きの少し難しい話になってしまいました。

私たち大人も，自分の「心のものさし」で問うことが多くなってはいないか，自分の「心のものさし」を問うことを怠ってはいないか，と振り返ってみることは大切なことです！

おはようございます。今の学年での朝会も，今日の放送朝会が最後になります。この１年間，朝会に参加するみなさんの態度は本当に素晴らしかったです。特に，先生のお話や委員会の人たちの発表を聴く姿勢や態度が，会を重ねるごとによくなってきていることを，校長先生はたいへんうれしく，誇らしく思っています。

さて，みなさんが今の学年で先生や友達と過ごすことができるのも，あと少しになりました。この１年間を振り返ってみると，たくさんの楽しい思い出，そして，自分自身の成長はもちろん，クラスとして，同じ学年として，仲間と共に成長してきたこともたくさんあったと思います。「こんなにいろんなことができるようになった自分やかけがえのない仲間」を大切に，４月からの新しいスタートに向かっていってほしいと願っています。

今，みなさんの中には，４月からの新しい学校生活のことに思いを巡らせ，「新しい先生は誰なんだろう。誰と同じクラスになるのかなあ。」という期待と不安が入り交じっている人もきっといることでしょう。今日は，校長先生からみなさんに，４月のスタートを上手にきるための「心のものさし」をプレゼントします。

「ものさし」というのは，みなさんも知っているように長さを測る道具です。でもこれからお話しする「心のものさし」は，目には見えません。相手の気持ちを考えたり，自分の言っていることやしていることがこれでいいのかを振り返るときに使うものなのです。

例えば，ある友達と仲良くなりたいと思ったとしましょう。その時，自分がこうしたいという自分の「ものさし」だけで全てを決めつけたり，自分の思うようにならないことを不満に思ったりしていては，いつまでたっても友達と仲良くなることはできないでしょう。相手の気持ちや言いたいことを考えられる「心のものさし」をもつことで，友達と仲良く，つながり合うことができるのです。

逆に，友達とけんかになったり，うまくいかなくなったりするほとんどの場合が，自分の「ものさし」だけで自分の言い分を相手に一方的にぶつけている，つまり自分の考えが正しいと自分で思い込んでいるときなのです。

今の自分は友達や周りの人たちの気持ちを考えられているかな，自分の「心のものさし」はちゃんとはたらいているかな，と時々立ち止まってチェックしてみましょう。そうすることで，自分の気持ちだけでなく，相手の気持ちを考える心のゆとりが生まれ，いろんな人とうまくやっていけるようになるのです。友達は，周りの人は，家族は，先生は，どう感じるかな。そういう豊かな「心のものさし」をもつことが，これからのみなさんには大切だと，校長先生は思います。

もうすぐ来る４月，みなさんが今日プレゼントした豊かな「心のものさし」を使い，新しいクラス，新しい友達，新しい先生と一緒に素敵なスタートができることを，校長先生は，今から楽しみにしています。

少し難しい話でしたが，最後の話をしっかり聴いてくれて，ありがとう。

**学校だよりに対するご意見や学校へのご意見は，TEL942－2155（校長）までお願いいたします。また，学校だよりは，学校のホームページにも掲載しています。カラーでご覧ください。**

**http://www.city-okayama.ed.jp/~saidaijis/**

６年生の保護者のみなさま方にとっては，学校だよりをお届けするのも今号で最後となりました。これまでのご愛読ありがとうございました。心より感謝申し上げます。